

川崎ものづくりブランドの認定式（主催・川崎ものづくりブランド推進協議会）が12日、川崎市川崎区の川崎商工会議所講堂で開かれ、7社7製品が「ものづくりブランド」に認定された。（三木 崇）

7社7製品を認定

ものづくりブランド表彰

市長「行政で使いたい」

市内の中小製造業者の製品の販路拡大と川崎のイメージ向上を目的に二〇〇四年度から実施。五回目となる今回は加工技術にも着目して「部材」が初めて認定された。



「川崎ものづくりブランド」認定を受けて笑顔の受賞者（前列） 川崎区

約九十人が参加した認定式では、協議会会長の西岡浩史川崎商工会議所会頭が「川崎には優れた商品がまだまだあり、掘り起こしをしていきたい」とあいさつ。阿部孝夫市長は「認定された製品は、できる限り行政で使わせてもらおうと思っている」と述べ、製品のPRに意欲を示した。

認定された製品名、会社名は次の通り。
▽超小型イーサネット接続DCモーターコントロール「なんでもイーサー」
（イクシスリサーチ||幸区）▽誘電率測定装置（エーイーティー||麻生区）▽ドライアイスアブラスト洗浄機「スーパードラフト」（協同インターナショナル||宮前区）▽難加工形状・微細加工プレス「∞（むげん）プレス」（JK B||高津区）▽ロボットペダスタル（昭特製作所||高津区）▽ドライブレコーダー「クピレ」（東信電気||麻生区）▽超大型無電解ニッケル厚付けめっき「メガニッケル」（テラサー||川崎区）